



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

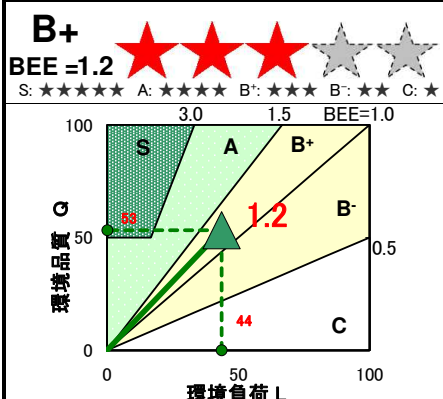
## 1-1 建物概要

建物名称	グランカサーレ玉造
建設地	東成区東小橋1丁目
建築用途	共同住宅
建築主	アートプランニング(株)
設計者	(株)IAO竹田設計
敷地面積	1,401.11 m <sup>2</sup>
建築面積	568.64 m <sup>2</sup>
延床面積	5,650.65 m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造 / 地上15階
完了年(予定)	2024年2月

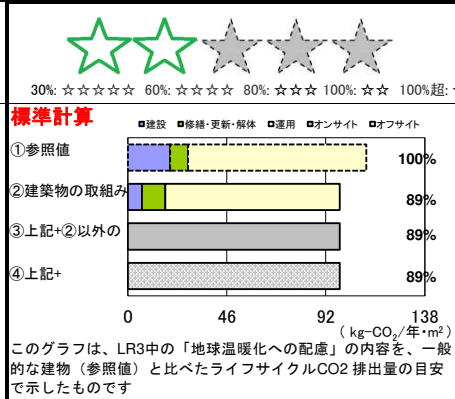
## 1-2 外観



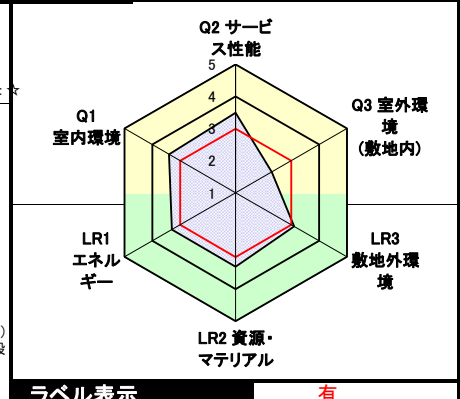
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

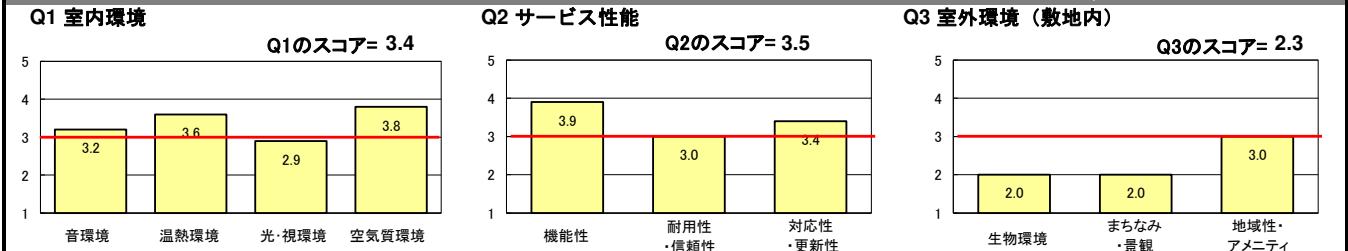


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

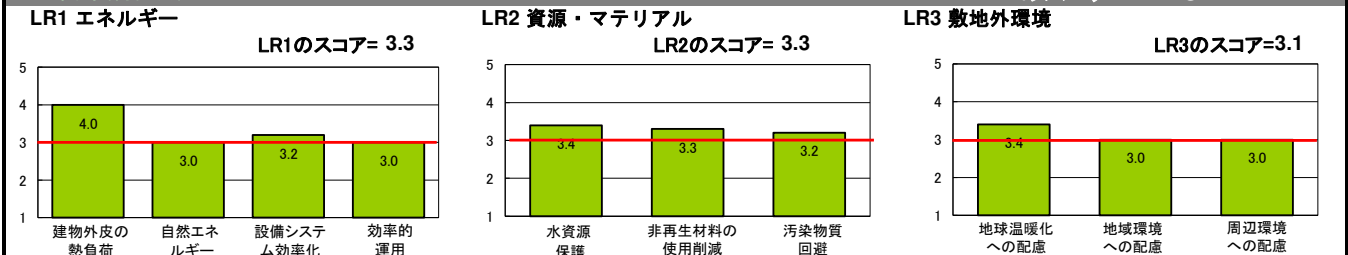


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

総合 建物の維持管理をしやすくし、入居者の快適な住環境を確保できるよう配慮している		その他 特になし
Q1 室内環境 ホルムアルデヒドを抑制したF☆☆☆☆の内装材を採用し、さらに住戸部の床面積に対して開閉窓を大きくするなど、空気質環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 Gbitクラスのインターネットに対応する設備や、住戸内部の天井高を高くするなどにより、機能性を向上させた。	Q3 室外環境（敷地内） 敷地内に多数の高木を植栽して敷地内の温熱環境の向上を図り、アメニティへの配慮を行った。
LR1 エネルギー 適切な断熱材の設置や、窓ガラスにペアガラスを採用するなどにより、建物外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 住戸内の水栓や便器に節水型器具を採用し、水資源保護に努めた。	LR3 敷地外環境 長寿命の躯体としライフサイクルCO2排出量を抑制し、地球温暖化への配慮に努めた。

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.4
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率=90%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 3.0
配慮事項	風や日陰を利用し、暑熱環境を緩和するよう配慮している

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	断熱性能を上げ、快適な温熱環境を確保するよう配慮している

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.2
配慮事項	特になし

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級4（相当） 非住宅部分[BEI][BEIm] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 0.98 住宅部分[BEI] 0.98 非住宅部分[BEI][BEIm] -